

平成28年度 第1回御代田町総合教育会議 会議録

日時等

招 集 年 月 日	平成28年11月1日 (火)		
招 集 場 所	教育委員会 エコールみよた中会議室		
開閉会時の日時	開 会	平成28年11月1日 (火) 午後	1時30分
	閉 会	平成28年11月1日 (火) 午後	2時45分

意見交換

<p>(1) 学校給食共同調理場の在り方について</p> <p>(2) 特別支援教育について</p> <p>(3) その他について</p>

出欠席者の職氏名

職 名	氏 名	
御代田町長	茂木 祐司	
教 育 長	櫻井 雄一	
教育長職務代理	柳澤 政弘	
教 育 委 員	平田 良子	
教 育 委 員	市川 美香	
教 育 委 員	茂木 伸一	

職務のため出席した者の職氏名

書 記	児玉 直美	
-----	-------	--

説明のため出席した者の職氏名

職 名	氏 名	職 名	氏 名
教 育 次 長	内堀 岳夫	生涯学習係長	荻原 武司
次長補佐兼博物館係長	堤 隆	社会体育係長	手塚 弥生
次長補佐兼図書館係長	佐藤 聖子	学校給食係長	小林 佳博
学 校 教 育 係 長	小平 佳伸		

傍聴人

0人

1. 開会

内堀教育次長 開会あいさつ

2. あいさつ

茂木町長 学校給食の将来の在り方について良い方向になるよう検討が生かされればと思う。忌憚のない意見をお願いしたい。

櫻井教育長 教育行政について、皆さまの考えを町長に伝えてもらう大切な会議であり、御代田町の問題について考えていければと思う。

3. 意見交換

(1) 学校給食共同調理場の在り方について

小林係長 「学校給食共同調理場あり方検討委員会」の課題、意見要旨等を報告。

茂木町長 検討会の中で給食のレベルが高いという認識をしてもらえたら良い。普段、あるのが当たり前の給食がどのように作られているのか知る良い機会になる。

内堀教育次長 PTAの方も給食を食べ、給食のレベルの高さを認識し、好評という意見があった。

櫻井教育長 調理員である正規職員の多くが定年退職になり、そのタイミングで民間委託をした市町村もある。しかし、御代田町は素晴らしい給食が提供されていて、何も課題がないのに、なぜ民間委託にするのか、何を検討するのかという意見が委員から出ていた。ただ、将来的にはどうなのか。現状を知っていただき、将来について検討する会議にしたいと考えている。

内堀教育次長 今年度、在り方検討委員会を3回開催し、来年度にかけて委員会で方向性を出し答申をしたい。

茂木町長 共同調理場に切り替える時に検討した経過もあるが、レベルの高い水準で出発して5年経過した。さらに10年経ったらどうするのかという方向性を出してもらえば良いのではないかと。安定した給食を提供するために意見を出してもらい、進めてもらえれば良い。

教育委員の皆さまにも機会をつくって是非食べてもらいたい。共同調理場に切り替わる前に、他市町村の共同調理場へ視察に行ったが、そこではアレルギー対応できる調理場所はあるが、アレルギー対応はしていないということだった。

平田委員 子どもがアレルギーを持っている保護者は、アレルギー対応をしてくれるなら御代田町に住もうという人も居ると聞く。

茂木委員 御代田町が丁寧に対応している結果だと思われる。

櫻井教育長 アレルギー対応の児童・生徒が多かったため、昨年専任栄養士を任用し、とても手厚く対応できている。

小林係長 専任栄養士がアレルギー対応食の献立・調理を行っているので、栄養教諭や他の調理員も安心して調理ができる。

市川委員 民間委託にして問題が生じたときに隠すような業者では困る。

茂木町長 御代田町在住の人で、民間委託業者に働いている人に話を聞いたが、民間委託の方が勤務時間に融通利くので良いそうである。

櫻井教育長 多くの時間、働きたい人も多いため、細かい勤務形態にするとなると兼ね合いが難しい。検討する必要がある。

茂木町長 人員確保が大きなテーマ。今後、安定した給食が提供出来れば良いと思う。

(2) 特別支援教育について

櫻井教育長 「特別支援教育の充実」の概要説明。
学校へ臨床心理士を入れるには人件費的にも大きい。
特別支援教育をお願いできる人に声をかけている。
他にも、県教委で進めている「特色ある教育を支援する教員配置事業」において、資格のある先生を募集している。
WISCなどの発達検査は、小諸養護学校や佐久総合病院で行っているが、検査は、すぐに対応できる人が居ることが大切であるため、今年度は、検査が出来る先生を補正予算により対応している。

茂木町長 他市町村の町費での雇用状況はどうか。

茂木委員 他市町村の中学には特別支援教育支援員はいない。学習支援員は、小学校で多くて2名程度任用している。

櫻井教育長 御代田中学校の経過の中で、町内の小中学校に学習支援員が多くなったと思われる。先生の加配は国基準(40人学級)だが、長野県は35人学級であるため加配が減らされてしまう。

茂木委員 佐久管内で特別支援教育を理解している先生や小諸養護学校で力をつけた先生が御代田町に来て対応していただけたらありがたい。

櫻井教育長 学校を良くしていくには、特別支援学級だけの指導だけではなく各学級でインクルーシブ教育を進めていくことが大事である。

3)その他

- 茂木町長 中学校で行う出前町長室の説明。
今年で10年目になる。「御代田町に生まれ育ったことに誇りを持つ」として、御代田町の良い所を知ってもらうため実施している。
生徒から事前に質問を受け、後で感想文を書いている。
これからは、体育施設を考えなければならない。
- 柳澤委員 中学校の体育館貸し出し規則を見直してもらいたい。
手塚係長 小学校も特別な理由を除き、貸し出しは町内者のみである。
柳澤委員 大会を開催したい場合、町外者だと借りられず困っている。中学校の体育館を開放したとしても、体育施設は足りない状況である。
- 櫻井教育長 屋内ゲートボール場やヘルスパイオニアセンターも古くなってきているので、検討しなければならない。
- 教育次長 体育施設の再構築については、教育委員会が主体となって検討しなければならない。
- 茂木町長 この先10年を見据えて、大きな課題の一つである。
教育次長 小学校についても長寿命化ができる施設なのか調査をし、長寿命化をするのか建替えにするのか今後、考えていかなければならない。
- 柳澤委員 子どもの数がどうなるのかによっても、考えないとならない。
櫻井教育長 この先、小学校の児童数は減っていき、中学校の生徒数は増加傾向である。それも踏まえ考えていかなければならない。
- 内堀教育次長 これで終了します。

(終了 午後2時45分)